

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1 11 26	ユニットごとに利用者状況の違い、職員の思いや課題を検討してサービス提供を協議する場がすべてのユニットで出来ない。	ユニットごとに利用者状況の違い、職員の思いや課題を検討し、チームでサービス提供するために協議をする場を作る。	・ユニットの実情に合わせた形で意見交換などの場を作る。課題の共有や、介護計画の作成などについて会議等の時間が取れない場合は、グループウェアなどの手段も活用する。	12ヶ月
2	2 3 4 5	事業所と地域との関りがコロナ禍もあって全くできていない。	グループホームかたぎはらをもっと地域の方に知ってもらう。	・施設を知ってもらう為の取り組みを企画する。区社協との連携・協働事業。地域向けの学習会の企画参加。利用者と共に地域行事への参加する	12ヶ月
3	19	毎月書面で近況を報告などしているが、コロナ禍において、面会も制限されている中、本人と家族が直接会う機会が減っている。	事業にもご家族も携わって頂けるような関係を職員が築く。 本人と家族との関係を大切にする。	・ご入居者の誕生日会にご家族を招き、ケーキなどを共同で作る。	12ヶ月
4	12	看取り支援について、看取り介護指針を作成、研修も行ったが、見直しが出来ていない。	看取り指針を見直し、協議検討を重ね、看取りの体制を作る。	・委員会を作り、看取り介護指針の見直しを行う。	12ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。